



令和4年度

# 竹原市立吉名学園

## 研究推進の取組

竹原市立吉名学園

研究推進リーダー 重廣 孝

# 研究の概要

# 研究の概要

## 研究主題

主体的に学び、自分の言葉で語る児童生徒の育成  
—郷土に学び 未来を拓く プロジェクト型学習を通して—

PBLの考え方を参考にした  
単元づくり

- 共通の視点に基づいた単元づくり
- ・単元の3つの型
- ・単元づくりの5つのポイント

児童生徒<sup>3</sup>  
にとって充  
実した**活動**  
を通して

**資質・能力**  
の育成を实  
現する

系統的に育成を目指す  
資質・能力の設定

- 育成したい12の力の設定と系統化
- ルーブリックを活用した評価



# 育成したい12の力の設定と系統化

## 「拓く力」の育成

英語力

ICT活用力

プレゼンテーション力

学校教育全体で育成するが、柱となるのは「**YOSHINA未来学**」(生活科・総合的な学習の時間)

## 「YOSHINA未来学」で育成したい12の力

| 知識及び技能                       | 思考力・判断力・表現力等   | 学びに向かう力・人間性等                                  |
|------------------------------|--|---|
| ア 知識<br>イ 技能<br>(主としてICT活用力) | ウ 課題を発見する力・企画する力<br>エ 活動を計画・推進する力<br>オ 情報を収集する力<br>カ 整理・分析する力<br>キ 表現する力<br>(主として英語力・プレゼンテーション力)<br>ク 発想する力・工夫する力<br>ケ 評価する力 | コ 挑戦する力・改善する力・やり遂げる力<br>サ 協働する力<br>シ 将来を設計する力 |



# 育成したい12の力の設定と系統化

## 「YOSHINA未来学」で育成したい12の力の系統化

|                | 第Ⅰ期(1・2年)  |  | 第Ⅱ期(3・4年)  |  | 第Ⅲ期(5・6・7年)  |   |  | 第Ⅳ期(8・9年)  |     |
|----------------|--|--|--|--|--|---|--|--|-----|
|                | 1年生  | 2年生  | 3年生  | 4年生  | 5年生  | 6年生   | 7年生  | 8年生  | 9年生 |
| ① 知識及び技能       | <p><b>ア知識</b><br/>学校のものや人、自然に関する知識を身に付けることができる。</p> <p><b>イ技能</b><br/>A：プレゼンテーション型学習<br/>B：文章作成型学習<br/>C：動画制作型学習</p> | <p>学校周辺のものや人、自然、自己の成長に関する知識を身に付けることができる。</p> <p>Aデジタルカメラを使って撮影ができる。また、写した写真を使って、簡単なスピーチができる。<br/>Bパソコンの起動や簡単なマウス・キーボードの操作ができる。<br/>Cデジタルビデオカメラやタブレット端末で映像の撮影・視聴ができる。</p> | <p>地域にあるもの(公共物・神社等)や地域の昔に関する知識を身に付けることができる。</p> <p>A自分が撮影した写真や図書資料、インターネットで集めた情報を基に、プレゼンテーションソフトを用いて5枚程度の簡単なプレゼン資料を作成できる。<br/>B自分が撮影した写真や図書資料、インターネットで集めた情報を基に、文書作成ソフトを用いて、ローマ字入力、写真のトリミング、書式の変更等により50~100字程度の簡単な文章を作成できる。<br/>C自分が撮影した映像を基に、動画編集ソフトを用いて30秒間程度の動画を制作できる。</p> | <p>地域にある食材や自己の成長に関する知識を身に付けることができる。</p> <p>A自分が撮影した写真や動画、図書資料やインターネット、アンケートなどにより集めた情報を基に、プレゼンテーションソフトや表計算ソフト(グラフ作成)を用いて、目的に応じた枚数の工夫したプレゼン資料を作成できる。また、出典を明記し、責任ある情報発信ができる。<br/>B自分が撮影した写真や図書資料、インターネット、アンケートなどにより集めた情報を基に、文書作成ソフトを用いて200~300字程度の工夫した文章を作成できる。また、出典等を明記し、責任ある情報発信ができる。<br/>C自分が撮影した映像を基に、動画編集ソフトを用いて30秒~3分程度の動画(CM・番組等)を制作できる。</p> | <p>自然活動における知識、情報を伝える手段に関する知識を身に付けることができる。</p> <p>地域に関する知識、地域の歴史に関する知識、地域を支える人に関する知識を身に付けることができる。</p> <p>地域産業に関する知識、野菜生産に関する知識を身に付けることができる。</p>   | <p>事業開発に関する知識、様々な職業に関する知識を身に付けることができる。</p> <p>メディアに関する知識、将来の進路に関する知識を身に付けることができる。</p>   | <p>ABC自分が撮影した写真や動画や図書資料、インターネット、アンケートなどにより集めた情報を基に、プレゼンテーションソフトや表計算ソフト(グラフ作成)、動画編集ソフトを用いて、目的に応じて、自分の伝えたいことが明確になるような工夫を取り入れたプレゼン資料作成、文章作成、動画編集ができる。また、出典を明記し、責任ある情報発信を行うことができる。(7年生末の段階で習得したすべての技術を活用し、さらに技能を高めることができる)</p> | <p>社会的な広い視野から自己や地域社会の課題を見出し、課題解決に向けて、様々な企画(アイデア)を出すとともに、自分自身で追究したいことを決定することができる。☆イメージマップ</p> |     |
| ② 思考力・判断力・表現力等 | <p><b>ウ課題を発見する力<br/>企画する力</b></p> <p>人や自然等と直接かかわる中で、気付きや疑問を見付けることができる。<br/>☆イメージマップ</p>                              | <p>教師の指示や説明をよく聞いて、活動を進めることができる。</p> <p>観察したりインタビューをしたりして、メモや撮影をしながら必要な情報を収集することができる。</p>   | <p>みんなで集めた疑問や課題の中から、自分自身で追究したいことを選択・決定することができる。☆イメージマップ</p> <p>事前に考えた質問項目を基に、インタビューを行い、情報を聞き出すことができる。また、図書資料やインターネットを使って、必要な情報を収集することができる。</p>   | <p>体験したり資料を分析したりする中で新しい課題を見つけ、課題解決に向けて、様々な企画(アイデア)を出すとともに、自分自身で追究したいことを決定することができる。☆イメージマップ</p> <p>課題解決に必要な情報や準備物等を教師や友だちの助言を基に考え、時間的な見通しをもって、計画的に活動を進めることができる。<br/>☆5ステップチャート</p>  | <p>課題解決に必要な情報や準備物等を自分自身で考え、時間的な見通しをもって、自発的・計画的に活動を進めることができる。☆5ステップチャート</p> <p>事前に考えた質問項目だけでなく、相手の反応を見ながら、臨機応変に対応して、より深く情報を聞き出すことができる。また、情報の発信元や情報の真偽を確かめながら、図書資料やインターネットを使って、必要な情報を収集することができる。</p>                               | <p>社会的な広い視野から自己や地域社会の課題を見出し、課題解決に向けて、様々な企画(アイデア)を出すとともに、自分自身で追究したいことを決定することができる。☆イメージマップ</p> <p>目的や達成したい課題に応じて情報収集の方法を選択し、必要な情報を収集することができる。</p> | <p>様々な情報をシンキングツールにより整理・分析することができる。☆Xチャート、Yチャート、マトリクス(分類整理) ☆ベン図(比較)</p> <p>様々な情報をシンキングツールにより整理・分析し、その特徴などを考えることができる。☆Xチャート、Yチャート、マトリクス、座標軸、フィッシュボーン(分類整理) ☆ベン図(比較)</p>   | <p>様々な情報をシンキングツールにより整理・分析し、その特徴などを考えることができる。☆これまで活用したシンキングツール</p>                            |     |
|                | <p><b>エ活動を計画・推進する力</b></p> <p>教師の指示や説明をよく聞いて、活動を進めることができる。</p>   | <p>観察したりインタビューをしたりして、メモや撮影をしながら必要な情報を収集することができる。</p>   | <p>事前に考えた質問項目を基に、インタビューを行い、情報を聞き出すことができる。また、図書資料やインターネットを使って、必要な情報を収集することができる。</p>   | <p>課題解決に必要な情報や準備物等を教師や友だちの助言を基に考え、時間的な見通しをもって、計画的に活動を進めることができる。<br/>☆5ステップチャート</p>   | <p>課題解決に必要な情報や準備物等を自分自身で考え、時間的な見通しをもって、自発的・計画的に活動を進めることができる。☆5ステップチャート</p>   | <p>目的や達成したい課題に応じて情報収集の方法を選択し、必要な情報を収集することができる。</p>  | <p>社会的な広い視野から自己や地域社会の課題を見出し、課題解決に向けて、様々な企画(アイデア)を出すとともに、自分自身で追究したいことを決定することができる。☆イメージマップ</p>   |  |     |
|                | <p><b>オ情報を収集する力</b></p> <p>観察したりインタビューをしたりして、メモや撮影をしながら必要な情報を収集することができる。</p>   | <p>観察したりインタビューをしたりして、メモや撮影をしながら必要な情報を収集することができる。</p>   | <p>事前に考えた質問項目を基に、インタビューを行い、情報を聞き出すことができる。また、図書資料やインターネットを使って、必要な情報を収集することができる。</p>   | <p>課題解決に必要な情報や準備物等を教師や友だちの助言を基に考え、時間的な見通しをもって、計画的に活動を進めることができる。<br/>☆5ステップチャート</p>   | <p>課題解決に必要な情報や準備物等を自分自身で考え、時間的な見通しをもって、自発的・計画的に活動を進めることができる。☆5ステップチャート</p>   | <p>目的や達成したい課題に応じて情報収集の方法を選択し、必要な情報を収集することができる。</p>  | <p>社会的な広い視野から自己や地域社会の課題を見出し、課題解決に向けて、様々な企画(アイデア)を出すとともに、自分自身で追究したいことを決定することができる。☆イメージマップ</p>   |  |     |
|                | <p><b>カ整理・分析する力</b></p> <p>様々な情報を短冊やワークシートなどに整理することができる。<br/>☆「なぜ」「なに」シート</p>  | <p>様々な情報を短冊やワークシートなどに整理することができる。<br/>☆「なぜ」「なに」シート</p>  | <p>様々な情報をシンキングツールにより整理・分析することができる。<br/>☆Xチャート、Yチャート、マトリクス(分類整理) ☆ベン図(比較)</p>   | <p>様々な情報をシンキングツールにより整理・分析し、その特徴などを考えることができる。<br/>☆Xチャート、Yチャート、マトリクス、座標軸、フィッシュボーン(分類整理) ☆ベン図(比較)</p>  | <p>様々な情報をシンキングツールにより整理・分析し、その特徴などを考えることができる。☆これまで活用したシンキングツール</p>  | <p>様々な情報をシンキングツールにより整理・分析し、その特徴などを考えることができる。☆これまで活用したシンキングツール</p>   | <p>社会的な広い視野から自己や地域社会の課題を見出し、課題解決に向けて、様々な企画(アイデア)を出すとともに、自分自身で追究したいことを決定することができる。☆イメージマップ</p>   |  |     |
|                | <p><b>キ表現する力</b><br/>A：プレゼン型学習(音声表現)<br/>B：文章作成型学習(文章表現)<br/>C：動画制作型学習(映像表現)</p>                                     | <p>A自分の伝えたい内容について、教師の示したフォーマットを参考に、実物や写真を見せながら3文~5文程度の文章を覚え、話すことができる。<br/>B教師の示したフォーマットや助言、発話した内容を基に、整った文章を作成することができる。(手書き)</p>  | <p>A教師の示したフォーマットや助言を基に作成した原稿用紙1枚程度のスピーチ原稿(手書き)を覚え、抑揚をつけながら、つまらずに話すことができる。<br/>B教師の示したフォーマットや助言、発話した内容を基に、構成(はじめ・中・おわり)を意識した文章を作成することができる。(手書き・パソコン)<br/>C自分の伝えたい内容を短冊やワークシートに整理した簡単な動画を制作することができる。</p>   | <p>A自分の調査したことや考えたこと(主張)などを、その場で言葉を考えながら伝えることができる。また、必要に応じて、スライドを指し示したり、相手の反応に合わせて話しながら話すことができる。<br/>B目的に応じて文章構成や細かい表現を工夫し、資料を生かしながら、他者に説明する文章を作成することができる。(パソコン)<br/>C起承転結を意識しながら構成を考え、映像の組み合わせや字幕、BGMなどを工夫しながら動画を制作することができる。</p>   | <p>A自分の調査したことや考えたこと(主張)などを、その場で言葉を考えながら伝えることができる。また、必要に応じて、スライドを指し示したり、相手の反応に合わせて話しながら話すことができる。<br/>B目的に応じて文章構成や細かい表現を工夫し、資料を生かしながら、他者に説明する文章を作成することができる。(パソコン)<br/>C起承転結を意識しながら構成を考え、映像の組み合わせや字幕、BGMなどを工夫しながら動画を制作することができる。</p> | <p>社会的な広い視野から自己や地域社会の課題を見出し、課題解決に向けて、様々な企画(アイデア)を出すとともに、自分自身で追究したいことを決定することができる。☆イメージマップ</p>  | <p>社会的な広い視野から自己や地域社会の課題を見出し、課題解決に向けて、様々な企画(アイデア)を出すとともに、自分自身で追究したいことを決定することができる。☆イメージマップ</p>   |  |     |
|                | <p><b>ク発想する力<br/>工夫する力</b></p> <p>話し、書く、描く、作る、など、様々な表現方法を用いて、自分の考えや気持ちを表現することができる。</p>                               | <p>話し、書く、描く、作る、など、様々な表現方法を用いて、自分の考えや気持ちを表現することができる。</p>  | <p>話し、書く、描く、作る、など、様々な表現方法を用いて、自分の考えや気持ちを表現することができる。☆イメージマップ</p>  | <p>話し、書く、描く、作る、など、様々な表現方法を用いて、自分の考えや気持ちを表現することができる。☆イメージマップ</p>  | <p>話し、書く、描く、作る、など、様々な表現方法を用いて、自分の考えや気持ちを表現することができる。☆イメージマップ</p>  | <p>話し、書く、描く、作る、など、様々な表現方法を用いて、自分の考えや気持ちを表現することができる。☆イメージマップ</p>   | <p>話し、書く、描く、作る、など、様々な表現方法を用いて、自分の考えや気持ちを表現することができる。☆イメージマップ</p>  |  |     |

第Ⅰ期

第Ⅱ期

第Ⅲ期

第Ⅳ期





# 共通の視点に基づいた単元づくり

## プロジェクト型学習の三つの型



### 夢実現型

個人や学級の思いや願いの実現を図る。



### 提言型

学校や地域の課題に対して、個人や学級で考えた解決策を提言する。



### 貢献型

学校や地域の課題解決に向けて行動する。

# 共通の視点に基づいた単元づくり

## 単元づくりの五つのポイント



### 本気になる課題設定

自分・学校全体・地域社会にとって重要な課題と出合わせる。  
地域貢献、地域への提言、夢の実現など

### 失敗・困難との出会い

失敗・困難な場面に意図的に出合わせる。  
その際、ICT(写真・映像)を活用して問題に直面させる。

### 再挑戦の場の設定

失敗を失敗のままで終わらせるのではなく、再挑戦の場を与えることで、困難や苦勞を乗り越えた先に得られる達成感・満足感を味わわせ、自信をもたせる。



### 行動指針に基づく挑戦

自分達の立てた計画及び行動指針に沿って、活動を実行させる。教師の支援は必要最低限とし、適宜、目的に立ち返らせながら、思い切った活動を進めさせる。

### コミュニティ・スクール制度の活用

学校運営協議会の承認を得られれば、必要な経費を得られる予算インセンティブ等の外部評価を導入する。相手の心を動かすプレゼンテーションが求められる。



# ルーブリックを活用した評価

| ルーブリック |     |     |     |
|--------|-----|-----|-----|
| S      | A   | B   | C   |
| ...    | ... | ... | ... |

- ・ルーブリックを基に，児童生徒の資質・能力を発揮した姿を見取る。



- ・見取ったことを基に，形成的評価や指導・支援を行う。



# ループリックを活用した評価



- ・ 研究授業では各教員がループリックを基に児童生徒の資質・能力が発揮された姿を見取る
- ・ 事後協議会では、各教員が児童生徒の姿をどのように見取ったかを交流

# 实践事例



# 第6学年 「吉名の祭りを復活させよう ～My・舞プロジェクト～」



地域の祭りから失われた巫女舞と獅子舞を復活させる活動を通して、  
地域における祭りの意義やそれを守ろうとする人々の思いを理解し、  
地域の伝統文化を残すために自分たちができることを考えるとともに、  
自分が決めた課題に進んで挑戦し、改善を図って最後までやり切ろう  
とすることができる。

# 0 地域の歴史や伝統文化の調査活動



昔の吉名の祭りは  
にぎわっていたけど、  
今は巫女舞や獅子舞も  
無くなってしまって……

- 修学旅行 ⇒ 地域の歴史や伝統文化に興味
- 地域の神社でのインタビュー  
⇒ 地域の祭りの過去と現状を理解



# 1

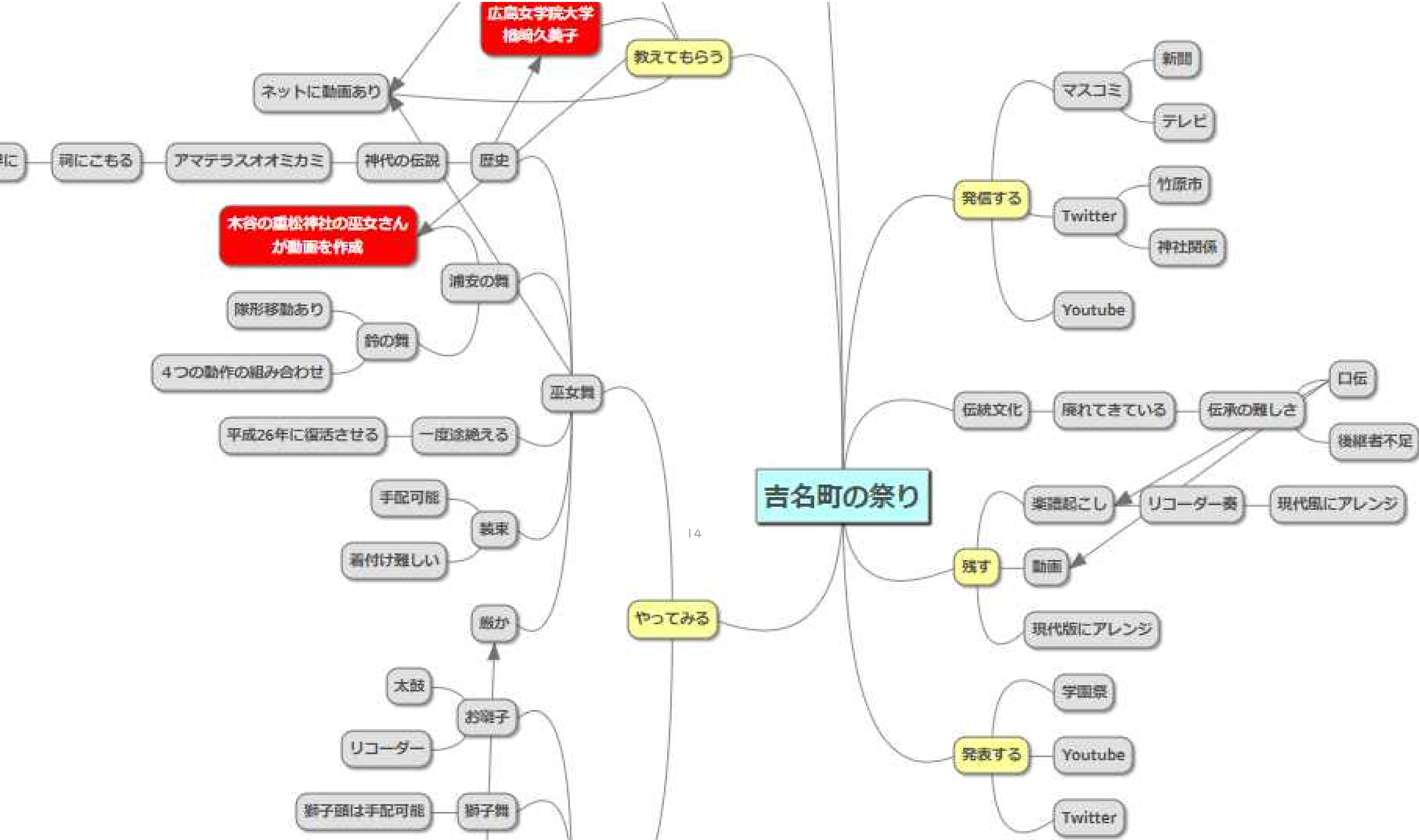
## 地域の課題と子供の思い・願いを基に課題の設定

昔は吉名もお祭りでにぎわっていた。だから、もう一度お祭りを復活させてにぎやかにしたい。Dさんの「伝統行事を受け継いでほしい」という気持ちにも応えたい。それに、自分たちの代でこれまで続いてきた祭りがなくなるのはいやだ。



**単元計画を全て変更！**

• 地域の課題×子供の思いや願い=**本気**の課題





1

# 地域の課題と子供の思い・願いを基に課題の設定

巫女舞・獅子舞って  
どうやって踊るの？

獅子頭がない！

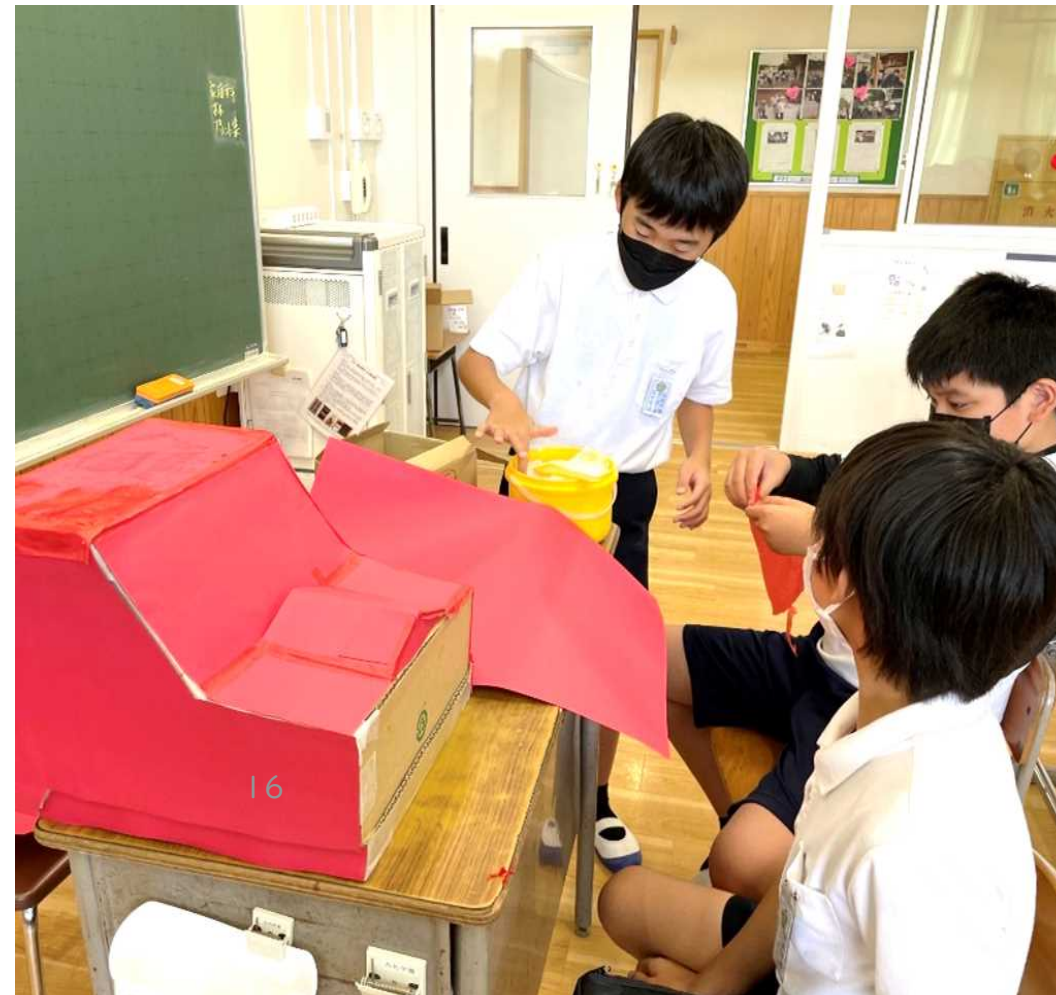


**失敗・困難との出会い！**



# 2

## 獅子舞・巫女舞の準備



- **本物**の獅子頭を教室に（本物にふれる環境）  
⇒ 子供が自ら獅子頭を作り出す！



# 2

## 獅子舞・巫女舞の準備



- **本物**の巫女舞を動画で学ぶ（ICT活用）
- 衣装や道具，所作も全て**本物**



# 3

# 地域の神社でのリハーサル



18

- 神社の方からの指摘
- リハーサルで見えてきた改善点を出し合う



# 4 地域の祭りで巫女舞・獅子舞の披露



・地域の祭り（**実社会**）での披露



# 保護者・地域の声



私たちの世代も踊っていた  
巫女舞を復活させてくれて  
懐かしさもあり,うれしかった。

これまで続いてきた祭りが  
途絶えるかと心配していましたが,  
6年生が復活させてくださった  
おかげで続けることができます。



・地域の声 → 児童の**達成感**・**手応え**



# 児童の振り返り

この「My・舞プロジェクト」をして本当によかったと思います。祭りを通してたくさんの人に巫女舞・獅子舞を知ってもらうことができてうれしかったです。学園祭でもたくさんの人に知ってもらい、自分たちの目標が達成できたと思います。

あとは、受け継いでもらうことに向けてがんばりたいです。



# 他学年の実践



1年生「なつのおそびをたのしもう」



2年生「自分の育てたい野菜を育てよう」



3年生「町のひみつを発見して伝えよう」



# 他学年の実践



4年生「吉名のジャガイモを広めよう」



5年生「ニュース番組制作プロジェクト」



7年生「吉名野菜生産販売プロジェクト」



# 他学年の実践



8年生「職場体験プロジェクト」



9年生「吉名の町を盛り上げよう」

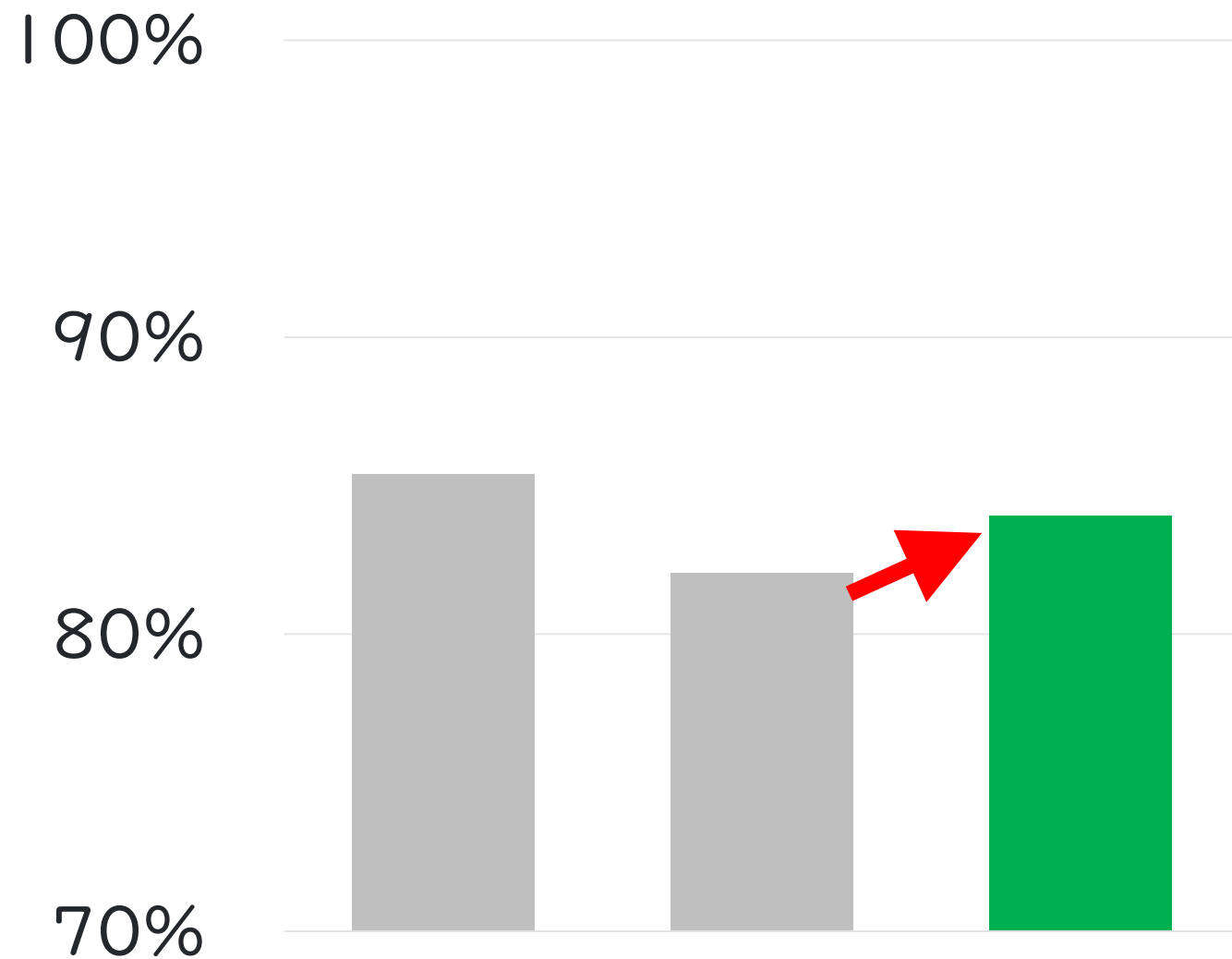


# 成果と課題

# 成果

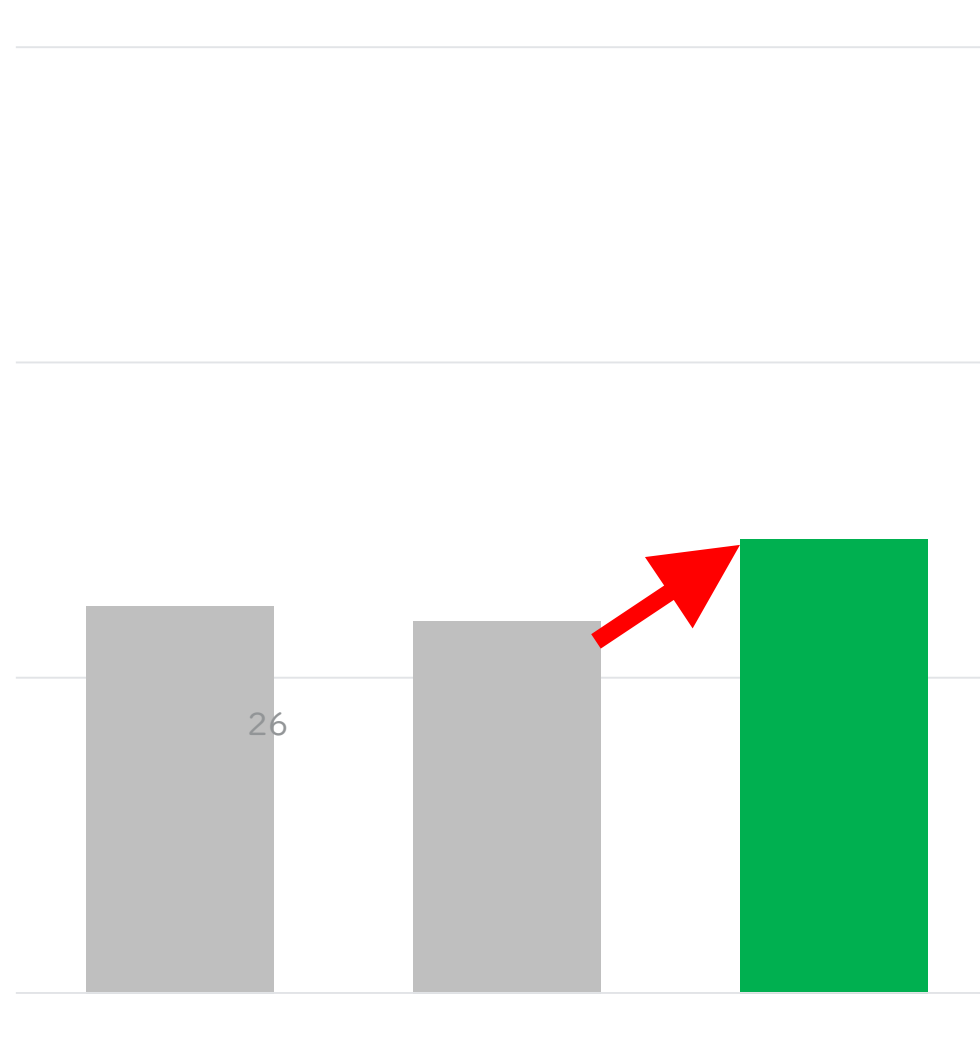
## 児童生徒意識調査より

○「主体性」「プレゼンテーション力」が上昇  
「プレゼンテーション力」の上昇は顕著



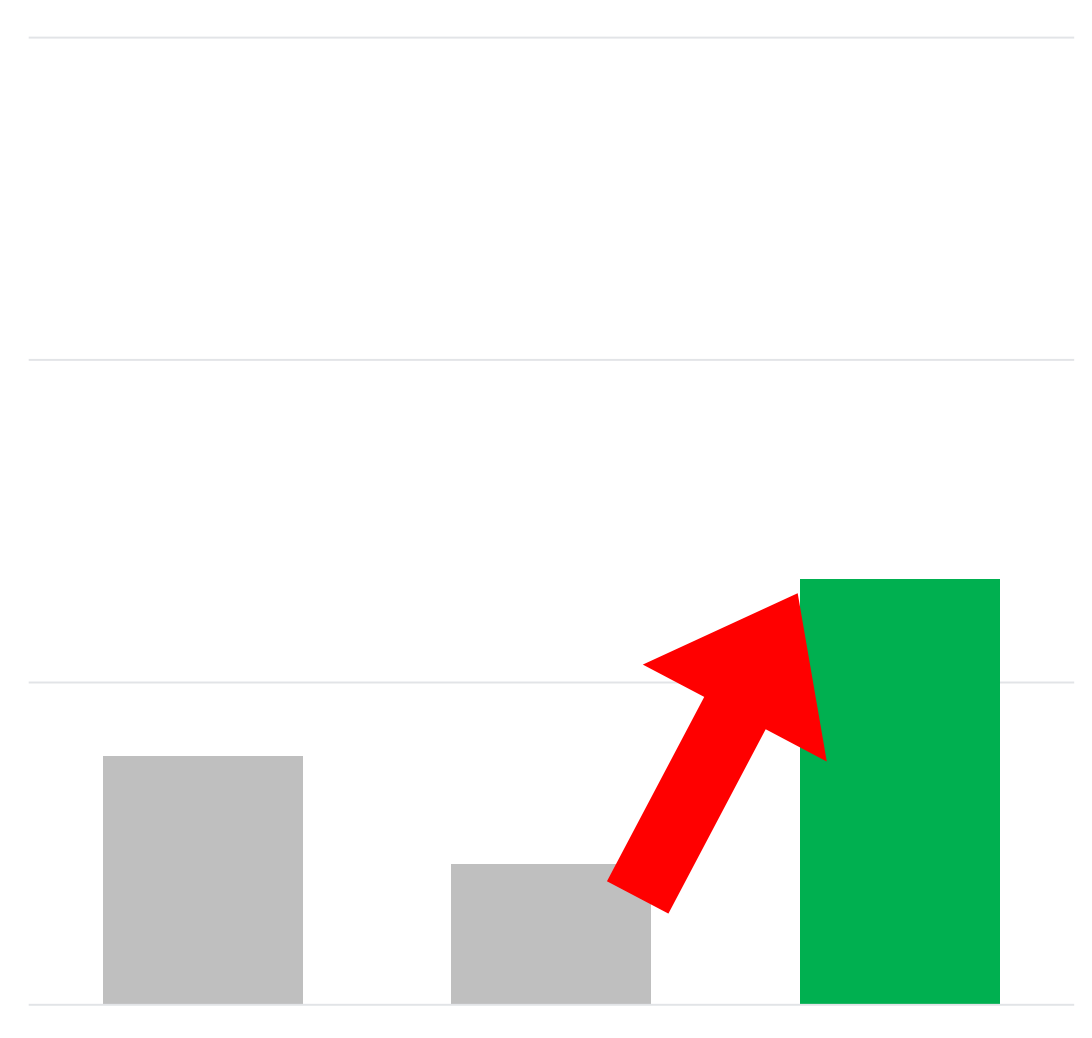
R04\_1月 R04\_9月 R05\_1月

自分の「やってみたいこと」に、失敗を恐れずに、思い切って挑戦している。



R04\_1月 R04\_9月 R05\_1月

聞き手を納得させる・説得することを意識して、資料の見せ方、話し方などを工夫している。



R04\_1月 R04\_9月 R05\_1月

原稿を見ずに、必要に応じて写真や実物を見せるなどして、分かりやすく話すことができる。



# 成果



失敗・困難との出会い



再挑戦の場の設定

- 「失敗・困難との出会い」  
「再挑戦の場の設定」という  
**理念**を学校全体で共有

# 課題

- 児童生徒が自ら目標や計画を立て、実行し、改善を図るといった「自立した学び」ではなく、単元のゴールを教員が設定する学年もあった。
- 自分たちが学んだことをまとめて発表することに留まったり、単元のゴールまでの道筋が立てられず行き詰まったりする等、実行段階まで辿り着かなかった学年もあった。
- ルーブリックを活用した評価については、評価の在り方も含め再検討の余地がある。





児童生徒も教員もワクワクする探究的な学びを！

